

2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	壁式鉄筋コンクリート造設計・計算規準小委員会	主 査 名：稲井栄一 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (壁式構造運営委員会)	委員長名：塩原 等 主 査 名：稲井栄一
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>2013 年 4 月～2017 年 3 月の期間で、「壁式鉄筋コンクリート造設計・計算規準検討小委員会」を設置し、2015 年 12 月「壁式鉄筋コンクリート造設計・計算規準・同解説」を刊行、講習会を行った。ひきつづき今回の出版では反映することの出来なかった項目や、新しい知見を整理し、今後の改定に向けての基礎資料を収集する。</p> <p>初年度：長期優良住宅、耐震等級 3 とするための検討、壁式構造のモデル化、WRC・地盤相互作用効果に関する技術資料の収集・検討</p> <p>2 年度：初年度の継続、とりまとめ（長期優良住宅等、解析モデル、相互作用）</p> <p>3 年度：初年度の継続、とりまとめ</p> <p>4 年度：規準改定案の作成</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：稲井栄一(山口大学) 幹事：楠浩一(東京大学)、井上芳生(INO 建築構造研究室) 委員：秋山裕紀(都市再生機構)、飯塚正義(プレハブ建築協会)、向井智久(建築研究所)、 勅使川原正臣(名古屋大学)、岡野創(千葉大学)、飯場正紀(北海道大学)、高木次郎(首都大学東京)、岡部喜裕(力体工房)、田中材幸(アールエス)、尾崎純二(萩森興産)	
設置 WG (WG 名：目的)	壁式 RC 構造解析モデルWG ：立体解析が一般的な市販の解析プログラムを、「壁式鉄筋コンクリート造設計・計算規準・同解説」に記載の解析モデルに適用する際の課題を検討することを目的としている。 壁式 RC 動的相互作用検討WG ：壁式 RC 造建物の動的相互作用効果を検討する。	
2020 年度予算	130,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	小委員会 + 2 WG 合同委員会：3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	2020年度大会(関東)諸行事は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. WRC・地盤相互作用の実例の検討実施 来年度小委員会に引き継ぐ
委員会活動の問題点・課題	1. 特になし